



原発「安全神話」の作り方ーだましの構造ー

福島原子力発電所の事故は、私たち市民に多くのダメージと同時に、それまでの社会の構造のさまざまな部分で「裸のすがた」を見る機会にもなっています。

「原子力発電が安全」というのは、今では誰も信じない、「神話」となりました。

では、なぜ、私たちは、この「神話」を信じてしまったのでしょうか。多くの「しかけ」がありそうです。それをひとつずつ確かめることから始めましょう。だまされない明日のために。

●日時:2012年1月15日(日)14時~16時30分

●場所:柳沢公民館(西武新宿線 西武柳沢下車 徒歩2分)

●だましのしかけ解体屋:三宅 勝久*(ジャーナリスト)

●参加費:100円(資料代)

*近著(11月発行):「日本を減ぼす電力腐敗」(新人物往来社)

●保育あり(10名まで:要問い合わせ)

●手話通訳あり

併設企画:写真展

2012年1月10日から1月16日(10日は10時から 16日は16時まで)

●「奪われ失われた生活と故郷ー福島原発事故災害」大島俊一

●主催:市民自治井戸端会議

●問合せ先:阿部 042-424-3410(夜間)、柳田 042-461-3246